# 新会社設立　中小製造業のDX化を支援

## ヤマヒロとゆびすいコンサルティング

### 株式会社Ｙｓｔｅｃが始動
### 既設の生産機械もＩｏＴへ

㈱ヤマヒロ（本社＝大阪府河内長野市。木全章仁社長）と㈱ゆびすいコンサルティング（本社＝大阪府堺市堺区。山下泰功社長）は先般、新会社「株式会社Ｙｓｔｅｃ（ワイステック）」を設立した。２０２０年10月に共同開発を行った「製造業向けＩｏＴシステム」の提案や自動・省力化に資する企画など、中小製造業のＤＸ化推進に寄与するため更なる拡販を図るものとしている。

ヤマヒロは、建設ファスナー・ねじを製造販売するメーカーで生産機器からのデータ取得のしくみや集計スキームを自社開発。専門メーカーとして培ってきた膨大なデータとノウハウをベースに、各社製造現場の課題に合わせて最適なＩｏＴシステムの開発を行ってきた。一方のゆびすいコンサルティングは、豊富な経営改善コンサルティングの知見をベースに、ビジネス課題の理解からデータ把握・分析に強みを有し、その先のモデル・システム構築、ＡＩ教育を含めた内製化まで、一気通貫でソリューションを提供している。

中小製造業のＤＸ化を推進するために、この度の新会社の共同設立において、ヤマヒロの製造技術および、ゆびすいコンサルティングの強みである経営改善コンサルティングの知見を掛け合わせることで「各機械設備からデータを収集すること」による「見える化」から「経営改善」へ繋げる「製造業向けＩｏＴシステム」の拡販を行っていく。

主なサービスの特徴としては▽古い設備でもＩｏＴ化可能＝40年以上前の設備でもデータ取得が可能。既存の設備を有効活用しながらスマートファクトリー化を実現する。▽マルチデバイス対応＝パソコン、スマートフォン、タブレットから閲覧可能。場所を問わずリアルタイムで設備の稼働状況を把握することが可能となる。▽低価格＝基本料金は月額５０，０００円、１台月額５，０００円～（税別）。最少設置台数10台（相談可）。▽豊富な取得可能データ＝ダッシュボード（全設備の稼働状況の把握）：各工場の設備稼働率や運転状況がリアルタイムで閲覧可能。設備ごとの詳細稼働状況の把握：設備ごとの稼働率や停止時間を見える化し、無駄時間を削減。月別推移例としてＩｏＴ導入前稼働率61％から導入後92・1％といった見える化により、設備トラブルや段取り替えのロスが多いことが判明。毎週の生産性向上会議で対策を検討実施した。取得可能データは生産個数、機械回転数、稼働時間、純稼働率、総稼働率等。

成果実績は、ヤマヒロにおいてＩｏＴシステムの導入により、余剰人員10名の創出（全従業員数100名）および「外注の内製化」を実現。稼働率は従来比30％向上となり、生産性が飛躍的に高まった。また、このＩｏＴシステムとＹｓｔｅｃ独自仕様のＣｈａｔＧＰＴアプリとの連携により、実績数値のデータベースから現状分析や改善点などを考察依頼すると、ＡＩから要約した文章で回答を得られる機能も備えている。

導入検討者には、ヤマヒロの工場においてＩｏＴシステムの活用事例を見学が可能。その後の導入までの流れは主に、現地調査、見積提出、実地作業、テスト運用、本番運用となる。

【新会社の概要】

▽社名＝株式会社Ｙｓｔｅｃ。

▽所在地＝本社：〒１０２－００７１東京都千代田区富士見２丁目７－２２ステージビルディング９階。開発：〒５８６－００３８大阪府河内長野市上原西町４－１。

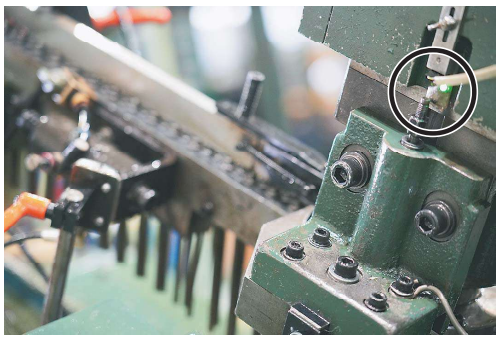
▽設立＝２０２４年８月23日。

▽代表取締役社長＝山下泰功氏。

▽代表取締役副社長＝山本淳一氏。

▽事業内容＝①ＩｏＴ機器の販売・設置・アフターサービス、②自動化、省力化ロボットの企画・選択・組み立て・設置・アフターサービス、③工場の生産性向上、省力化コンサルティング。

上の画像はＩｏＴシステムの画面一例で、対象設備の稼働率や生産数などを見える化。既設機械にもセンサーを取り付けられる（下）



ロボットアームなど自動・省力化の企画も行う

ヤマヒロがＡＭＲなどの運用ノウハウを有する